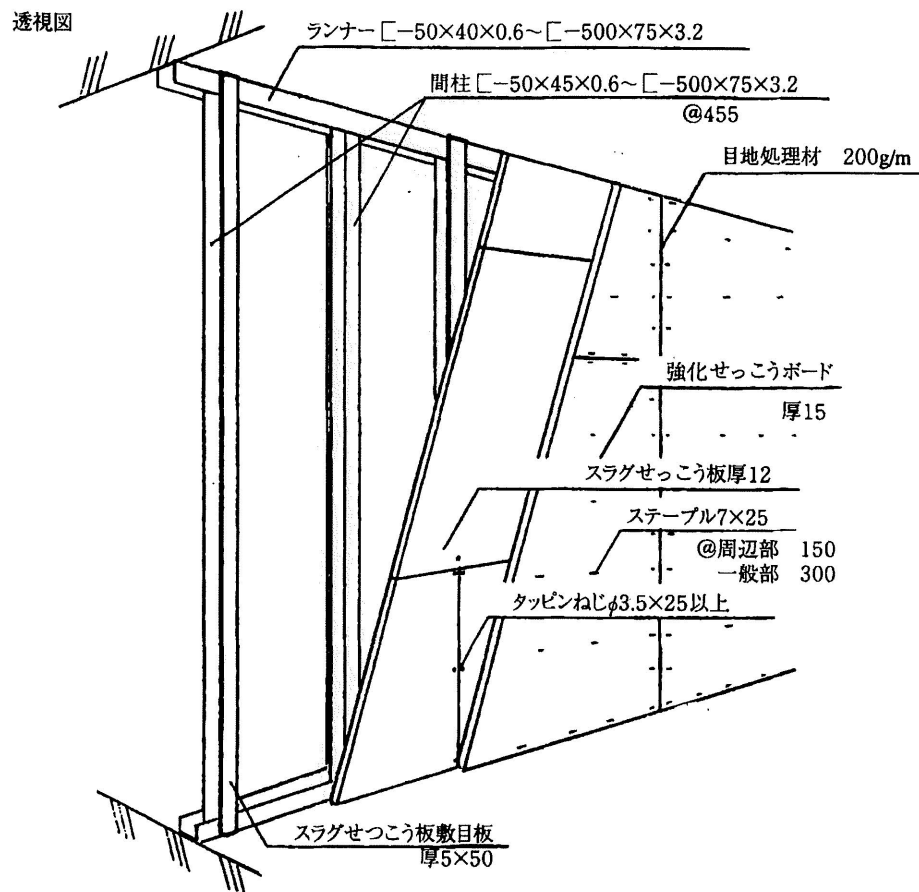


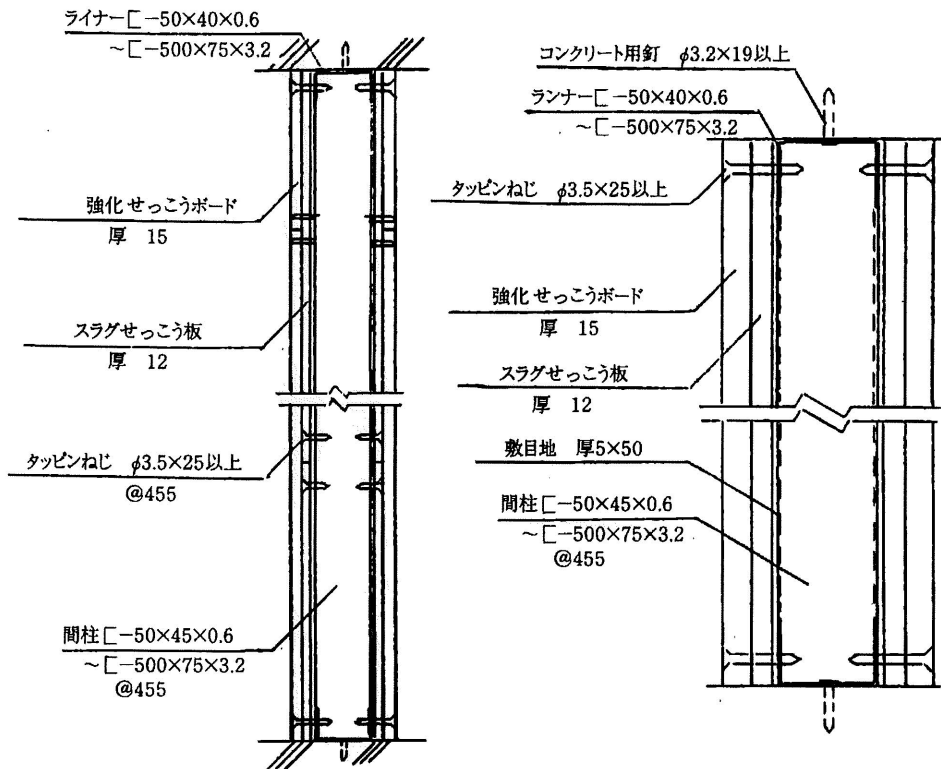
FP060NP-9045

・認定した構造内容又は建築材料の内容（寸法単位：mm）

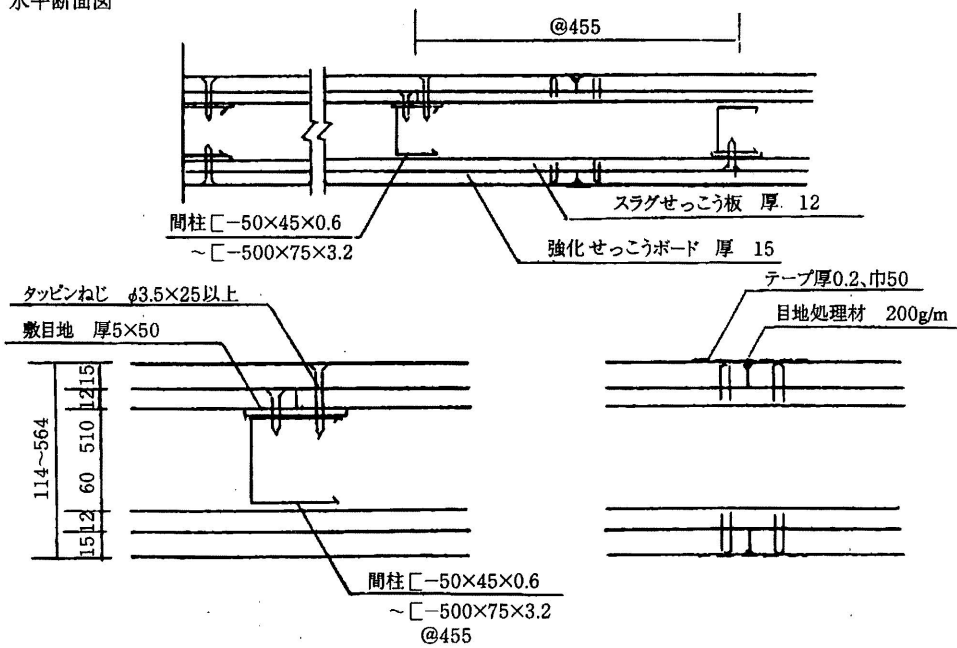
1. 部分、耐火性能の区分 間仕切壁 2時間耐火
2. 試験機関名 (財)建材試験センター 受託番号 依試第3504号
3. 構造説明図（単位 mm）



鉛直断面図



水平断面図



4. 材料等説明

4.1 主構成材料

(1) スラグせっこう板

(イ) 規格

不燃第1030号 2種 JIS A 5430

(ロ) 組成 (%)

二水せっこう 41 スラグ 41 耐アルカリガラス繊維 5

パーライト 5 パルプ 5 石灰 3

(ハ) 形状・寸法

最大巾 910^{+0}_{-3} mm

長さ $2,730 \pm 3$ mm

厚さ 12 ± 0.5 mm

(2) 強化せっこうボード

(イ) 規格

不燃第1008号 JIS A 6901

(ロ) 形状・寸法

最大巾 $1,210^{+0}_{-3}$ mm

長さ $2,730^{+3}_{-0}$ mm

厚さ 15 ± 0.5 mm

(3) 骨組構成材料

(イ) 上下ランナー JIS G 3302

□-50×40×0.6~□-500×75×3.2mm

(ロ) 間柱 JIS G 3302

□-50×45×0.6~□-500×75×3.2mm

4.2 副構成材料

(1) ランナー固定用金物

コンクリート釘 $\phi 4 \times 30$ mm

打ち込み鋸 $\phi 3.2 \times 19$ mm

(2) タッピンねじ

JIS A 1122又は1125 $\phi 3.5 \times 25$ mm以上 (亜鉛メッキ処理)

ステーブル 巾7×長さ22mm以上 (亜鉛メッキ処理)

(3) 目地処理材

グラスファイバーテープ 厚さ 0.2×巾50mm

せっこう系パテ (目地部50g/m、テープ部150g/m)

(4) 接着剤

酢酸ビニール系せっこう接着剤 (500g/m²)

(5) 敷目板

スラグせっこう板 不燃第1030号 2種

厚 5mm以上

巾 50mm

長さ 910～3030mm

5. 標準仕様（施工仕様）

(1) 墨出し及び上下ランナー取り付け

間仕切りを設置する所定の位置の天井及び床面に芯墨を出す。芯墨に合わせて上下のランナーを取り付ける。固定用金物を用いて1,000mm以内のピッチで取り付ける。

(2) 間柱の取り付け

間柱を455mm以下のピッチでランナーに取り付ける。

間柱には敷目板（厚5mm、巾50mm）を910mmピッチで千鳥配列になるように、仮留めする。

(3) スラグせっこう板の取り付け（下張り）

スラグせっこう板は横張りを標準とし、留め付けは3.5×25mm以上のタッピンねじにて、455mm以下の間隔で取り付ける。

下張りボードの目地部には接着剤をくし目コテにて500g/m²塗布する。

(4) 強化せっこうボード（以下、せっこうボードという。）の取り付け（上張り）

せっこうボードは立て張りを標準とし、下張りのスラグせっこう板と目地をずらして張る。

留め付けはエアータッカーを使用して、巾7×長さ22mm以上のステーブルにて周辺部は150mm、内部は300mmの間隔で留め付ける。

(5) 目地処理

せっこうボードの目地部はテープ（0.2t×巾50mm）および仕上げ用目地処理材を用いて、目地部充填及び表面仕上げを行う。

(6) 表面仕上げ

ペイント、クロス貼り、吹き付け等防火上支障のない材料で仕上げる。

6. 留意事項

(1) 保管に関する事項

保管の際は、水、湿気を避け平らな所に積み重ねる。

(2) 運搬に関する事項

持ち運ぶ際は、面を垂直にもち、特に角部に衝撃を与えたり、面に傷を付けないよう注意し、乱暴な取り扱いを避ける。

7. 付帯条件 なし

注意事項

当該認定書において、「建築基準法の一部を改正する法律」（平成10年法律第100号）による改正前の建築基準法の規定による建設大臣の認定仕様がある場合は、平成14年6月1日以降は「建築基準法の一部を改正する法律」（平成10年法律第100号）による改正後の建築基準法の規定による当該認定仕様に係る国土交通大臣の認定仕様を用いるものとする。